

帯山第六町内 自治会だより

初春号
(第71号)

発行責任者
帯山第6町内
自治会長
緒方 建二

HPは下記QR



自治会長
緒方 建二

新年おめでとうございます

皆様におかれましては、ご家族お揃いで新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

一昨年からのコロナ騒動もワクチン接種の低年齢層化及びマスク・消毒等が習慣化したこともあり急速に減少してきており、このまま終息してくることが国民すべての必死の願いでありましよう。また、これまで自粛・休止・縮小していた様々な活動も十一月から再開された『えんがわサロン』を初め、徐々にではあります各活動が再開されてきており大変喜ばしいことと思っております。

さて、新しい年になつて、さつそくご報告しなければならぬことがあります。一つ目は、公園内の桜の木の伐採のことです。

昨年六月十四・十五日に六本中四本を伐採いたしました。止む無き事情がありました。止む無き事情が細に述べることは紙面の都合でできません。詳しいいきさつは六町内のホームページの『会長特急便』のコーナーに掲載させていただきます。どうぞご覧ください。ホームページのアクセスは、自治会だよりの表題下の『QRコード』でご訪問ください。

二つ目は、四月十九日に公民館土地の登記が完了し権利書をいただいております。八、八七平米、公算価格七千万円のこの土地が晴れて帯山校区第六町内自治会が登記名義人となりましたことをご報告させていただきます。いづれにしても、リアルタイムにホームページに掲載しておりますが、自治会だよりが年四回の発行です。どうして遅れることを申し訳ないと思っております。同時に多くの方がホームページを閲覧されることを願っております。

五年前のあの熊本地震で被災を被ったことから始まった『公民館建て替え等問題』も今年で六年目になり、いよいよ佳境に入つてまいりました。毎回、自治会定例会では喧々諤々と議論が沸騰しております。最終的には、今年度当初の自治会総会において町内会員の皆様方のご賛同を戴いて初めて実現にむけて進められるわけですが、

私の好きな言葉に『朝の来ない夜はない』という言葉があります。しかし、続きがありまして、『ぼーっと待つていても来ないよ。一所懸命努力した人にだけ朝は来るんだよ!』

より安全・安心・楽しい地域づくりに頑張つてまいります。皆様のご協力をどうぞよろしくお願ひ申し上げます。



公式ホームページ「帯山6町内」 since2009（平成21年） 13年目

新年明けましておめでとうございます

昨年は新型コロナウイルスとの闘いで長寿会の活動もかなり制限されました。今年は少し収まる中で感染症対策を徹底し更なる発展に努めて参りますので皆様の一層のご支援ご協力をお願い申し上げます。最後に皆様のご健勝とご多幸をご祈念いたします。
令和四年元旦
長寿会長 田上和親

明けましておめでとうございます

今年の干支は三十六年に一度の「五黄の寅」年です。「五黄の寅」年生まれば強運の持ち主とされています。リーダー的気質を持っています。今年生れは最高です。まだ、間に合います。能力のある方は頑張つてみたらどうでしょうか。
令和四年元旦
監事 緒方正春

新年のご挨拶

あけましておめでとうございます

皆様健やかに新年をお迎えるの事と申します。日頃より資源物回収をはじめとする婦人会活動にご理解、ご協力をいただきありがとうございます。本年もたいぎやあ良か年になるごつ頑張りませうばいた。

令和四年元旦
婦人会長
田中年枝



第6町内公民館

あけましておめでとうございます

あけましておめでとうございます

昨年は「コロナ禍」で、校区や自治会の様々な行事が中止となり、同様に民生委員の活動も思うようにできませんでした。今年はいよいよコロナの中、どのようにすれば安心して展開できるのかを、委員一同考えてまいります。

今年も皆様に幸多い年でありませうお祈り申し上げます。
令和四年元旦
民生児童委員 一同
ボランティア

あけましておめでとうございます

二年間コロナウイルスで、様々な活動が制限されてまいりましたが、ワクチン接種があり日常生活がもどろろつつあります。本年度は皆様と様々な活動が出来る様に勤行力行してまいりますので、宜しくお願ひ致します。
令和四年元旦
子ども会B 一同

お正月には楽しい思い出があった

小学生までは、母は何が気に喰わないのか知りませんが、年間364日怒っていました。怒らないのが元日の1日のみなので、それが唯一の楽しい思い出です。ところが中学以降は一転して自由放任となり好き勝手ができ、365日元日となりました。さて、今はスズメの涙ほどの年金の中から「かすていら饅頭」も我慢してお年玉をやる羽目になっていますが、自治会役員の方々には子どもころの楽しい思い出話をお願いしました。（受付順に掲載）

お正月の楽しみ 民生児童委員

山本洋子さん
子供の頃、お正月が来るのがすごく楽しみでした。なぜかと言うと親戚が多く新年の挨拶に沢山の客が来られてその人達から頂くお年玉で好きな菓子を買って、いとこ達と一緒に羽根つきをしてとても楽しかった思い出があります。



それにわが家は酪農と米を作る兼業農家だったので、家族皆で食卓を囲む事が少なかったのです。思い出を思い出したので、お正月の三ヶ日だけは家族全員でゆっくりおせちや雑煮を食べる楽しい幸せな時間を過ごした様に思い出されます。

餅つきも母で父と祖母で、お鏡さんと小餅を皆でまるめ、残りは祖母がかきもちを作ってくれました。赤は食紅で緑はヨモギでおやつに焼いて食べて、あの味が今でも忘れられなく、あの頃にもどれたらと、お正月が近づくと楽しみです。

子どもの頃の年末年始 体協・防災隊

右田亨さん

新年あけましておめでとうございます。本年もよろしくお願いたします。

六男さん

町子さん



帯山六町内のおともたち

今回は私の子ども頃の年末年始の過ごし方を聞いて頂きたいと思います。私はそこそこの田舎の出身であり、まさに「もういづく寝ると〜」の世界で過ごしていた記憶があります。年末になると祖母の家で親戚全員集合での餅つきが通例でした。年が開けると、本当に唄の通り、凧あげやコマを回して過ごしていました。その頃は、正月に開いている店もほぼなく、「初荷」の旗を揚げたトラックを見て、やっと店が開くんだなと思つて喜んでいました。正月は親戚一同で楽しく過ごしたことが一番の思い出です。大人会で会する機会が限られてしまった近年ですが、本年こそ普通の生活ができることを願っています。

お正月の思い出 防災隊・自治協会

橋元千波さん

お正月の思い出と聞かれ、真っ先に頭に浮かぶのは、台所で忙しく立ち働く母の姿です。私の故郷は鹿児島で、元旦は父方の親戚と持ち回り各家が集まっています。我が家の当番になった年は、十人を越える来客の準備で年末の大掃除から買い出しまで大忙しでした。今のように二十四時間開いてある店も便利な家電もない中の母の大変さは、便利に慣れてしまっている私には尊敬しきれません。そんな母の手から作り出される料理は、お節料理をはじめ焼酎で柔らかく下茹でして仕上げた豚骨やオバの酢味噌和え、干しエビと干し椎茸で出汁をとった雑煮など手間と愛情がたっぷりでとても美味しかったです。三が日は、返は街もシオンと静かでお店が開いたらお年玉で何をかうとワクワクする時間も好きでした。今年こそは帰省したいです。

帯山第6町内自治会は、私たちの住む町内が「あんぜん、あんしん、たのしい地域」であるための活動です

あとかき

童話「泣いた赤鬼」をラジオ深夜便で耳にしました。小1の冬、誕生会を開催するから各班は出し物を準備しなさいと担任指示がありました。私は小1学年誌の「泣い〜」の指人形劇を思い出し、班に提案し採用されました。次の日曜日に準備を予定しましたが、いくら待っても人が少ししか集まりませんでした。そこで昭和30年代初頭の必殺技を出しました。アメ玉です。これを餌に各人を訪問し掻き集め、何とか制作し上演できました。健気な小1よ、大人になったらもっと大変だゾ。

第5回帯山老人クラブ連合会グラウンドゴルフ大会開催

令和3年10月8日（金）9時〜帯山7丁目どんぐり公園にて、残暑厳しくも秋晴れの下開催されました。1チーム5人2R制の町内対抗で、新型コロナに配慮しつつ熱戦でした。成績は昨年より一つ上で僅差の3位でした。



帯小校区の各町内チームが参加した開会式



6町内出場選手のみなさん